

令和8年(2026年)7月2日(木)16:30～

飯山市旧4小学校利活用ビジョン検討市民会議

提言書の提出

(進行:小林総務課長)

次 第

1 開 会

2 提 言 田中委員長より江沢市長へ提言書の提出

3 市長あいさつ

4 懇 談

1) ビジョン検討市民会議の協議経過と提言の概要について
(事務局)

2) 市民会議委員の皆様より一言いただきます

5 閉 会

飯山市旧4小学校利活用ビジョン提言書について

令和8年（2026年）7月2日

1 検討の対象と組織について

対 象 閉校となっている旧泉台小、旧常盤小、旧戸狩小、旧東小の4小学校
組 織 飯山市旧4小学校利活用ビジョン検討市民会議
令和8年（2026年）2月24日に組織され、協議を開始。
（公募委員、地区からの選出委員を含め、委員21名）

2 利活用検討の経過

旧4小学校利活用ビジョン検討市民会議は、第1回目の令和8年2月24日から、第5回目の令和8年7月2日まで計5回の協議を実施し、旧4小学校の利活用について、市の現状、強み、弱みを確認し、市ならではの、また他自治体の事例等も確認しながら話し合いや協議を重ねてきました。

3 利活用ビジョン提言書の目的

市民会議が考える空き校舎の利活用ビジョンの提言内容は、人口減少や出生率の低下に歯止めを掛け、飯山市民が将来に亘り安心して住み続けていけるために必要と思われる機能や施設についてまとめました。市の強みを更に磨いて他自治体との差別化を図り、弱点は他自治体と同水準になるよう引き上げを目指し、市民もこの地を訪れた人も、空き校舎が「市外から人を呼び込む中核施設」となることを願い、提言書を提出いたしました。

4 提言書における旧4小学校を利活用する方策

市民会議では、旧4小学校を利活用する方策として、2つの方向性を提言

(1)飯山市の強みを生かす空き校舎利活用方策

市内の地域資源を満喫できる場所や、子ども達が自然の中で逞しく成長できる場など『子どもや子育て』がキーワードとなる機能や施設としての利活用を提案。

他の自治体では体験できない自然に抱かれた子育て環境や教育環境により、全国から飯山で子育てしたいと思う親子が集まってくるものと考え、「自然の中で強く生き抜く力を育めるまち」に向けた中心的な機能(役割)を空き校舎に求めます。

(2)飯山市の課題を解決するための空き校舎利活用方策

市の弱みは、「知名度の低さとPR力の弱さ」、「駅前・中心市街地の機能(宿泊・商業・飲食・土産)不足」、「人口減少や少子高齢化によるコミュニティでの役務的金銭的負担の増や「暮らしのインフラ(交通・医療・介護)及び単身者向け移住支援の弱さ」、観光においては「グリーンシーズンの弱さや全市的に宿泊施設が少ない」ことなどが考えられます。これらの全ての弱みを旧4小学校の利活用により底上げすることはできませんが、市外から人を呼び込み、市の課題解決に繋がる機能や施設を提案します。これにより市民が安心暮らせる地域づくりを目指します。